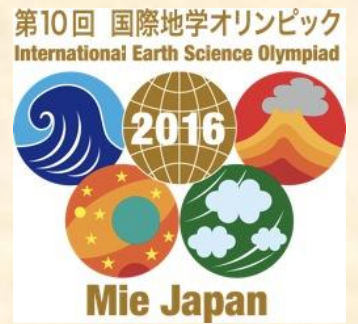




第 1 0 回

国際地学オリンピック 日本大会（三重）

The 10th International Earth Science Olympiad

ご寄付のお願い

国際地学オリンピック 2016 組織委員会

ごあいさつ



平 朝彦 国際地学オリンピック 2016 組織委員会委員長((独)海洋研究開発機構理事長)

画家ゴーギャンは、「我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか」という大作を描いています。この絵から何を感じ、何を読み取るのか、は個々によって異なると思いますが、その問いかけは普遍的なものであり、人間の発する最も根源的なものです。宇宙の起源や法則を探究し、地球と生命の進化を調べ、そして、私たちの生きる世界そのものを理解しようとするこ

と、すなわち地学の目標は、ゴーギャンの問いかけと一致しているのです。

地学を青少年時代にしっかり勉強・探究し、自分とは何者なのか、ということ問い続けることは、生きることの基礎となり、未来を切り開く力になると信じています。

地学オリンピックは、高校生・中学生が国際的な舞台で、自分たちの地学の力量を試し、また世界の仲間と交流し、まさにゴーギャンの問いかけを熱く語り合う貴重な体験の場を提供します。日本列島は、地球の営みの最も活発な地域に位置しており、自然災害の常襲地帯でもあります。日本での地学オリンピックの開催は、東日本大震災の経験も含めて、世界の青少年に地球と人間の関係について感じ、考えてもらう良い機会となります。次世代の成長と育成のために、日本がなし得る極めて重要なイベントになると思っております。

是非とも、本趣旨にご賛同頂き、ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。



鈴木 英敬 国際地学オリンピック 2016 組織委員会副委員長（三重県知事）

2016年に、第10回国際地学オリンピック日本大会を三重県で開催することになりました。

世界各国の優秀な若者が集い、地学の實力を競う本大会を、三重県で開催できますことは大変光栄なことであり、世界に向けての三重県の認知度を高めることに非常に効果的であると考えています。県としては、本大会の成功に向けて、しっかりと支援していきたいと思っております。

三重県には、伊勢神宮や世界遺産の熊野古道などがあり、日本人のこころや文化を世界各国の皆様が発信する絶好の機会ととらえています。国際地学オリンピックの本県での開催を機に、理数教育全般の底上げを進め、将来、科学技術の分野でリーダーとなる人材の育成に一層取り組んでまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



内田 淳正 国際地学オリンピック 2016 組織委員会副委員長（三重大学学長）

高校生のための「国際地学オリンピック」が三重県で開催することになりました。科学オリンピックは地学のほかにも各分野でそれぞれ開催されており、世界各国の高校生が集まって知識を競うとともに、国を超えた友情をはぐくんでいます。三重大学がこの大会運営の一翼を担うことは大きな喜びであります。本学には、教育学部や生物資源学部で地学系領域を学ぶことができる学科やコースがあります。本学は世界一の環境先進大学を目指して実績を積んでいるほか、地球温暖化に伴う気象・気候変動研究の優れた研究成果を生み出しており、さらに津波等の自然災害の基礎研究も地元と連携して推進しています。国際地学オリンピック開催を機に、三重大学から世界に向けて、地学の教育・研究情報を発信できることを期待しています。

開催に対するご寄付のお願い



上田 誠也 国際地学オリンピック 2016 組織委員会募金委員長（学士院会員・東京大学名誉教授）

国際地学オリンピックは、文系・理系を問わず、高校生、中学生に大きな刺激と目標を与えてきました。次世代を担う彼らが、世界のすぐれた若者たちと起居をともにし、地学の場での交流を深めることは、わが国の地学教育の水準を高め、今後の世界に絶対に必要とされる地学の全地球的振興に大きく貢献するに違いありません。皆さま、どうかその意義をご理解いただき、格別のご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

～認定NPO法人への寄付金のメリットについてのご案内～

地学オリンピック日本委員会（JESOC）は、認定NPO法人です

認定NPO法人とは、運営組織・事業活動が適正で公益の増進に寄与する団体として一定の要件を満たし、都道府県の知事または指定都市の長の認定を受けたNPO法人のことです。
地学オリンピック日本委員会への寄付者は税制上の優遇措置を受けることができます。

法人がご寄付をされた場合

法人が認定NPO法人へ寄付をした場合、一般の寄付金の損金算入限度額^(※1)に加えて、別枠で特別損金算入限度額^(※2)まで損金算入をすることができます。損金算入分は法人税、地方税が課税されません。

(※1) 一般寄付金の損金算入限度額 : $(\text{資本金等の額} \times 0.25\% + \text{所得金額} \times 2.5\%) \times 1/4$

(※2) 特別損金算入限度額 : $(\text{資本金等の額} \times 0.375\% + \text{所得金額} \times 6.25\%) \times 1/2$

個人がご寄付をされた場合

個人が認定NPO法人へ寄付をした場合「寄付金控除」制度が適用され、確定申告をすることで、税金の還付を受けられます。寄付金控除は、所得控除方式と税額控除方式の2つの方法から有利な方法を選択できます。

※控除額には一定の上限額があります。また、どちらが有利な方法になるかは所得などによって異なります。詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

※東京都にお住まいの方は、住民税も控除の対象となります。詳しくはお住まいの自治体にお問い合わせください。

ご注意

- 地学オリンピック日本委員会への寄付はすべて税制上の優遇措置の対象となりますが、会費は対象となりません。
- この制度についてのお問い合わせ等は、国税庁または所轄税務署におたずねください。また、制度の概要については、国税庁のウェブサイト（<http://www.nta.go.jp/>）等でご確認ください。
- 2016年三重大会終了後に寄付金に余剰が生じた場合は、地球惑星科学教育普及のために使用させていただきます。

ご寄付の方法：お名前とご住所、ご連絡先（電話番号またはメールアドレス）を本委員会までご連絡いただき、下記口座までお振り込みをお願いします。後日、寄付金受領証明書を送付させていただきます。

みずほ銀行本郷支店 普通 2786070 国際地学オリンピック日本大会

【開催概要】

1. 名 称 第 10 回国際地学オリンピック
The 10th International Earth Science Olympiad
2. 略 称 IES02016 三重
3. 主 催 国際地学オリンピック 2016 組織委員会
特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会
4. 共 催 独立行政法人科学技術振興機構（予定）
公益社団法人日本地球惑星科学連合
三重県、国立大学法人三重大学
5. 開催日 2016 年 8 月 20 日（土）～8 月 28 日（日）
6. 開催場所 三重県（主会場：三重大学）
7. 参加国・地域数 40 か国（予測）
参加人数 各国・地域代表生徒：160 名（各国 4 名まで）
各国・地域メンター：80 名（各国 2 名まで）
各国・地域オブザーバー：30 名、主催国スタッフ：70 名
8. 表 彰 筆記と実技試験の成績を総合して、成績の上位から概ね 10%、20%、30%にそれぞれ、金メダル、銀メダル、銅メダルが授与されます。

大会スケジュール（案）

2016 年	選手スケジュール
8/20(土)	代表団到着・歓迎会
8/21(日)	開会式（三重大学）・訪問（伊賀上野）
8/22(月)	訪問（伊勢志摩）
8/23(火)	筆記試験（三重大学） 訪問（MieMu みえむ 三重県総合博物館・鈴鹿）
8/24(水)	実技試験（三重大学および野外）
8/25(木)	国際協力野外調査（熊野）・高校生との交流
8/26(金)	国際協力野外調査発表
8/27(土)	閉会式（三重大学）・歓送会
8/28(日)	代表団出発

* 上記スケジュールは今後変更になる可能性があります。

* 国際協力野外調査は、別々の国の生徒 5-6 名でチームを作り、協力して野外調査を行い、その結果をまとめ、発表します。メダルとは関係ありませんが、英語力と国際協力を必要とする内容です。

* 各国の代表団は原則として4名の高校生選手と2名のメンターで構成されています。

<お問い合わせ先>

特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

学会センタービル 3 階

TEL/FAX: 03-3815-5256

E-mail: esolympiad@yahoo.co.jp

<http://www.jeso.jp/>